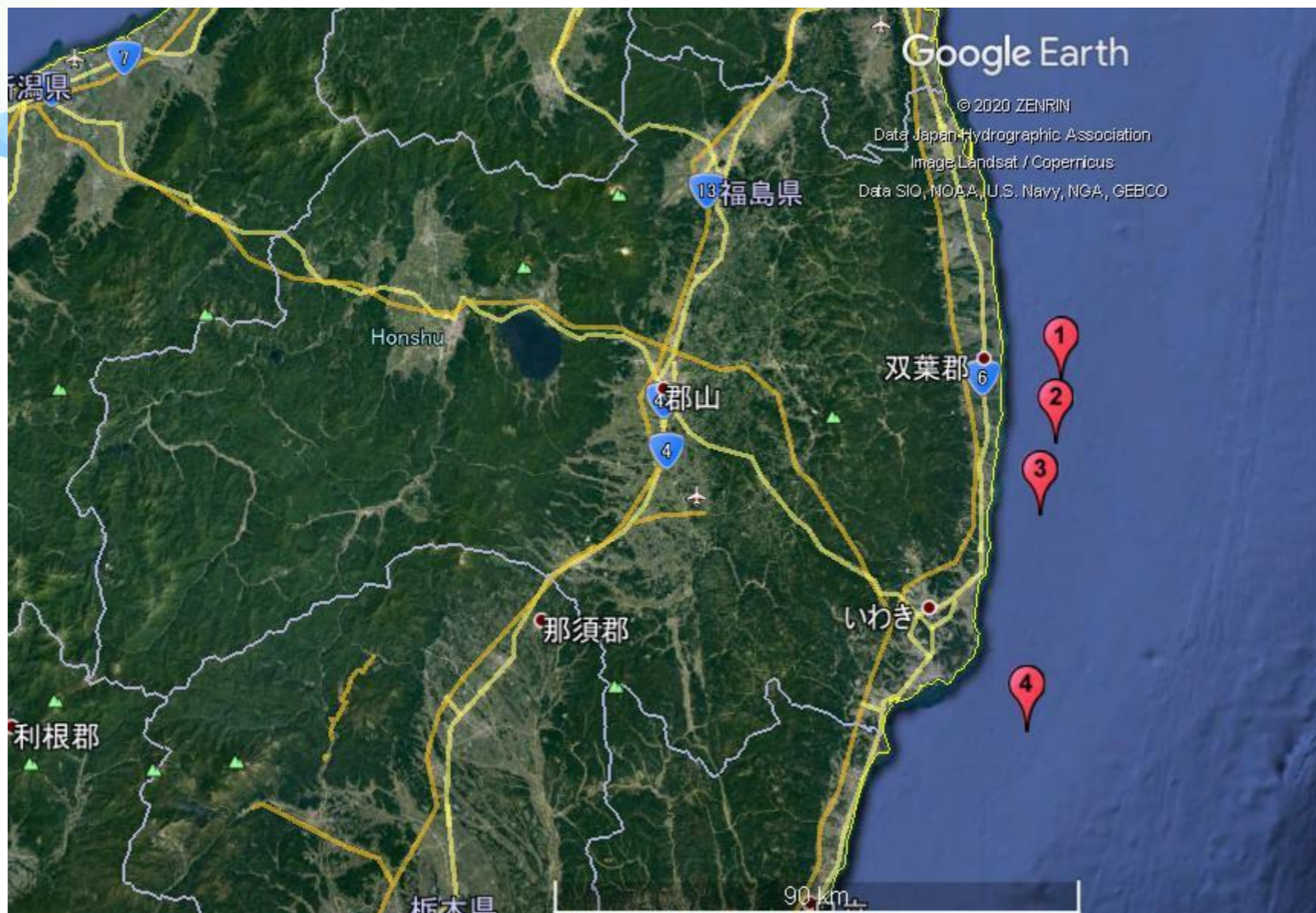


海水採取地点



福島第一原発施設内の陸から計測して半径1.5kmの範囲は東京電力の敷地となります。
したがって、たらちねで福島第一原発沖での海洋調査を行う場合は、東京電力敷地内の陸から半径1.5kmより外側の海域で試料の採取をしています。
※1.5km以内は東京電力の敷地となっています

海水採取地点



- ① 福島第一原発沖
- ② 福島第二原発沖
- ③ 双葉郡広野沖
- ④ いわき市小名浜沖

海水の測定方法について

海水のセシウムとストロンチウム90の測定には、採取した海水をろ紙でろ過した海水を試料として使います。しかし、海水をろ過することにより、細かい砂や肉眼では確認できない小さな生きものは、ろ紙に吸着され、測定する海水部分に含まれないようになってしまいます。そのため、それらの浮遊物(砂や生き物)に含まれる放射性物質の測定値を知ることはできません。

そこで、たらちね では、日常の中の海水とはどういう状態のものか? を考えました。その結果、細かい砂や生き物も含めた海の水 全体か海水なのではないかという結論に至りました。したがって、たらちねでは、たらちね以外の分析機関で測定するのと同じく、ろ過した海水の測定を行うと同時に、海水の中に浮遊している 砂や生き物の測定も行なっています。

海水の測定結果と浮遊物(砂や生き物)の測定結果は、それぞれに項目を分けて設けています。浮遊物の測定値は、その地点の1Lの海水中に含まれる浮遊物の放射性物質の濃度となります。

第6回 2017年4月22日 【福島第一原子力発電所沖】

【海水 測定結果】	海水A 表層		海水A 下層		海水B 表層		海水B 下層		海水C 表層		海水C 下層	
北緯	37° 24'		37° 24'		37° 24'		37° 24'		37° 24'		37° 24'	
東経	140° 02'		140° 02'		141° 02'		141° 02'		141° 03'		141° 03'	
水温	10.4 °C		10.4 °C		10.6 °C		10.6 °C		10.5 °C		10.5 °C	
水深	—		10 m		—		13 m		—		14 m	
	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値
セシウム137 (Bq/L)	ND	0.016	0.039±0.009	0.015	0.018±0.009	0.015	0.053±0.010	0.017	ND	0.017	0.041±0.010	0.017
自由水型トリチウム (Bq/L)	ND	2.76	ND	2.74	ND	2.74	ND	2.83	ND	3.26	ND	2.89
ストロンチウム90 (Bq/L)	ND	0.0006	ND	0.0006	ND	0.0006	ND	0.0006	ND	0.0005	ND	0.0006

【魚 測定結果】	ソイNo.62		マゾイNo.72		マダラNo.63	
重量	0.547 kg		1.116 kg		2.810 kg	
体長	25 cm		—		56 cm	
北緯	—		37° 25'		—	
東経	—		140° 09'		—	
水温	—		—		—	
水深	—		—		—	
	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値
セシウム137 (Bq/kg生)	ND	1.95	ND	1.70	ND	1.10
セシウム134	ND	1.76	ND	1.55	ND	1.01
有機結合型トリチウム (Bq/kg乾)	—		ND	1.32	ND	1.38
ストロンチウム90 (Bq/kg乾)	ND	0.12	ND	0.13	—	

※ ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。

※ 海水→自由水型トリチウムとは、環境中や生物体内に水の状態で存在するトリチウムのことです。

※ 魚→有機結合型トリチウムとは、環境中や生物体内の炭素・酸素などに結合して存在するトリチウムのことです。